

## ラッカセイの作期反応と銹病問題

財津昌幸・古明地通孝・田中滋郎 (九州農業試験場)

Masayuki ZAITSU, Michitaka KOMIICHI and Shigeo TANAKA : Effect of Seeding Time on Growth and Occurrence of Rust in Peanut

暖地のラッカセイは、線虫密度を抑制するクリーニングクロープとして評価されているが、輪作組合せ様式の拡大をねらいとした晩播栽培では、茎葉病害による減収が大きい。本試験では晩播栽培における生育収量と銹病の問題点について検討した。

### 1. 試験方法

品種は、ナカテユタカおよび銹病耐病性の R3367 (千葉県農業試験場育成) を供試した。播種期は 4 月 9 日から 1 ヶ月おきに 7 月まで 4 回に播種し、4 月播は原則としてマルチ、他は無マルチ栽培とした。防除は、完全防除を目標にジネブ剤およびメプロニル剤を 7 月下旬からほぼ 10 日おきに散布した。罹病度は主茎の展開葉第 4 葉位から 8 葉位までの 5 枚の各小葉合計 100 枚を調査した。調査基準はムギ類銹病発生程度基準に準じて 6 段階とした。

### 2. 結果および考察

1) 播種期と開花, 登熟条件 6 月 9 日播きの開花期は 7 月 9 日~13 日で年次間の変動も小さかった。この時期に開花期に達すれば、開花期から収穫期(10月末)までの有効積算温度(≧15℃)は最低年 926~最高年 1,082℃に達し、登熟には支障が認められず、年次によってはむしろ過熟気味となった。開花期までの日数は、最高 60 日(1982 年 4 月 9 日播き)から、最低 21 日(1981 年 7 月 9 日播き)と播種期によって大きく変化したが、開花期における主茎葉数は、7 月 9 日播きのように初期の生長が速やかな場合にはわずかな増加が認められるものの、多くは 8~9 葉で変動せず、一定の生育段階で開花することが示された。

2) 播種期と子実収量 6 月 9 日播きの子実収量は、4 月 9 日播き(無マルチ)、5 月 10 日播きとの比較では 3

第 2 表 銹病抵抗性と罹病度および収量

調査年月日	品種・系統名	銹病罹病度		子実重(kg/a)	
		防除	無防除	防除	無防除
1983. 9. 20	ナカテユタカ	18.6	89.5	24.1	0
" " "	R 3367	7.3	34.3	18.0	6.1

注) 収穫期: 1983 年 10 月 21 日

ヵ年ともやや勝り、4 月 9 日播き(マルチ)との比較では、1982 年はよかったが、1983 年は劣った。第 1 表には、莢実数を 2~3 年の平均値で示したが、6 月 9 日播きと 4 月 9 日播き(マルチ)とを比較すると、1982 年は 6 月 9 日播きで m<sup>2</sup> 当たり 346、4 月 9 日播きは 354、1983 年はそれぞれ 285、296 で両年とも 4 月 9 日播きがやや多いが、その差はわずかであった。両栽培処理間の差は、上実百粒重に認められ、1983 年は、4 月 9 日播き(マルチ)の 96 g に対し、6 月 9 日播きは 84 g と少なかった。その要因の一つとして同年は銹病がいちぢるしく多発し、防除は行ったものの、後期にかなりのまんえんをみたことが考えられる。

3) 銹病問題 このように、10 月末まで健全葉が維持されれば、6 月 9 日播きでも減収しないことが確認されたので、銹病対策として、耐病性系統を供試し、晩播、無防除栽培での罹病性とその収量性を検討した。第 2 表に示すように、R3367 はナカテユタカに比べれば明らかに罹病度は低いが、1983 年は全般に銹病が多発したこともあって、無防除では 9 月 20 日にかなりの罹病度を示し、子実収量は防除区の 1/3 に激減した。耐病性系統においても銹病の影響がきわめて大きいことが認められ、抵抗性の程度にもよるが、当面は晩播栽培では防除が不可欠なことが示唆された。晩播栽培成立のためには、耐病性品種と有効薬剤とを組合せた病害対策が必要である。

第 1 表 生育期と収量および収量構成要素

(ナカテユタカ・防除)

項 目 播種期 (月・日)	開花期(月・日)			開花期まで 日数(日) 3 年平均	開花期の主 茎葉数(枚)		登熟期間の有効 積算温度(℃)			子 実 重 (kg/a)			莢 実 数 (nr) 3 年平均	上実 100 粒 重 (g) 3 年平均
	1981	1982	1983		1982	1983	1981	1982	1983	1981	1982	1983		
	4. 9 マルチ	—	5.25	5.23	46	—	8.2	—	984	867	—	33.6	37.2	325
4. 9 無	6.8	6.7	—	60	8.0	—	1102	1052	—	30.3	31.9	—	214	86
5. 10 "	6.26	6.19	6.20	42	8.0	8.8	1169	1054	1132	37.0	34.5	31.8	248	93
6. 9 "	7.10	7.9	7.13	31	8.0	9.0	1082	926	1052	37.4	35.9	32.3	294	89
7. 9 "	7.30	8.8	8.4	26	9.8	9.0	830	586	771	24.6	17.5	22.1	201	79

注) 有効積算温度は日平均気温から 15℃引いた積算で示す。